

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経済学研究科
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント(TA)・リサーチ・アシスタント(RA)・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業形態、教材の多様化に伴う既存教室の機器などの改善を図る。	→教室へのプロジェクター設置割合。教員の機器使用要求に応える度合い。	B	B	C	B	A
2. 会議など事務的負担を軽減することによって研究時間を確保する。	→学部で設置する委員会数。メールによる持ち回り委員会の開催数。	D	D	C	C	C
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか C号館、経済学部棟におけるプロジェクターなどの視聴覚機器の配備は2011年度までにほぼ終了し、2012年夏に、これまで稼働率が悪かった経済学部棟2階の4教室について、プロジェクターの設置、可動式の椅子・机の配備、PC対応の電源の容量を増やすことによって改善した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 経済学部棟の2階の4教室の1週間の稼働率が2013年度に75%にアップした。ただし大学院授業開講の利用は少ないが、セミナー開催や報告会などに利用されている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 小教室利用のPC・PR備品の設置、現在の授業形態にあった視聴覚教材システム(VTR、DVDなど)の増加に伴う可動式のスピーカーなどの必要備品の購入。	☆
		その他	
			☆

目標2	C	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできた 執行部での検討により、2011年度に委員会の数を減らすことによって、若干の改善がなされた。それを2012年度以降も踏襲している。また、教授会と研究科委員会を別日程で実施していたものを同日程開催とした。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 委員会数の減少により、大幅に研究時間が確保されたわけではないので、なお事務的負担の軽減の余地があると思われる。教授会・研究科委員会を同日程開催とすることで空いた時限を研修会・講演会に充てることができた。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 空いた時間(第3, 4週水曜日)の有効利用としてFD研修会や講演会開催を継続させる。	☆
		その他	☆
備考			☆